

リハビリテーション学科

【科目名】	心理学実験	【担当教員】	川原 正弘
【授業区分】	専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】	(メールアドレス)
【開講時期】	前期	【選択必修】	必修
【単位数】	1	【コマ数】	30コマ
【注意事項】			
<p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <p>本科目は「公認心理師」資格を取得ための必須科目です。</p> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <p>本実験演習はペアあるいはグループで行います。特別の事情がない限り、遅刻・早退は厳禁です。実験後はレポートを課し、レポート提出あるいは発表していただきます。所有している場合は、各自のノートパソコンを持参して下さい。レポートは原則として返却しません。</p>			
【講義概要】			
<p>(目的)</p> <p>心理学の中でも特に臨床心理学に関わる検査を体験することにより、臨床心理学の基礎知識を修得し、既成の理論や法則を確認することを目的とする公認心理師のために必要な 実験計画の立案の方法、統計に関する基礎的知識について理解する。 当該科目と学位授与方針との関連性；A-2 当該科目と学位授与方針との関連性；R-2</p> <p>(方法)</p> <p>毎回、臨床心理学の主要な検査法を題材として取り上げ測定等を行う。実験後に実験レポートを作成する。</p>			
【一般教育目標(GIO)】			
臨床心理学的な手法を用いて“こころ”の状態を測定する方法や査定する方法について学ぶ。			
【行動目標(SBO)】			
こころの状態を査定する方法を理解し、実験や検査を実施できる。 実施した実験や検査の結果処理ができる。 考察の観点を明らかにし、研究レポートを作成できる。			
【教科書・リザーブブック】			
実験時に実験方法を示したプリントを配布する。			
【参考書】			
改訂版心理アセスメントハンドブック / 村上宣寛・村上千恵子 / 北大路書房 / 2,700 (税別)			よ
くわかる心理学実験実習 / 村上香奈・山崎浩一 / ミネルヴァ書房 / 2,592 (税込)			
【評価に関わる情報】			
(評価の基準・方法)			
成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。出席点は評価に含みません。 「達成度評価」基準により、100点満点で60点以上を合格とする。			

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合				40	40	20			100
評価指標	取り込む力・知識			10					10
	思考・推論・創造の力			20	10				30
	コラボレーションとリーダーシップ				10				10
	発表力				10				10
	学修に取り組む姿勢			10	10	20			40

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1-6	オリエンテーション 実験実施法、レポートの書き方の説明	講義 演習	資料配布	225
7-12	実験01 Y-G性格検査	講義 演習	資料配布	225
13-18	実験01 実験結果の発表 質疑応答、他者発表の評価 重要事項の確認(Y-G性格検査)	結果発表 講義	発表準備(予習)	225
19-24	実験02 内田クレペリン精神作業検査 実験法の説明 実験演習	講義 演習	資料配布	225
25-30	実験02 実験結果の発表 質疑応答、他者発表の評価 重要事項の確認(内田クレペリン精神作業検査)	結果発表 講義	発表準備(予習)	225